※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「美術１」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年生の授業では、基礎から発展的な表現・技法まで学習します。また、美術系大学受験に向けての知識・技能だけでなく構想力・想像力を身に着けることを目標に「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア」各分野について「色・形・材料」を用いて視覚的に表現すること学びます。また、「鑑賞」を通して、作者の心情や表現意図を読みとり、自分の言葉でそれを他者に伝えることを学び、自己の表現に生かしましょう。
制作全般を通して物事を多角的にとらえる「観察力」や先入観を排除し観る「想像力」、またそこから新しいイメージの発見と発想を得ることで、造形的能力を高めていきましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組もうとする。	観察力や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術表現に必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫している。	作品の表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを味わい、言葉等を用いて表現することができている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート エスキース アイディアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	レポート 発言・発表内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期・後期【通年】	通年課題『クロッキー・ドローイング』	【絵画】 クロッキーを通して身近なものを観察し、短時間でものを捉える力を養う。描く行為の習慣化に取り組む。 ドローイングを通して造形行為の習慣化・作品構想の能力を高める。 ■制作 ・身近にあるものや人物等を観察し、短時間で描く。 ・色や形、様々な素材を使ってドローイングを行う。 ■相互鑑賞	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:身近にあるものを様々な角度から観察し，動きや形、ものの美しさやおもしろさを感じ取ろうとしている。主体的に活動に取り組もうとしている。 b: 手を動かしながら考えることで得た発想や発見を基に構想を練っている。 c：視覚的な効果を考え，構図や配色、素材等を工夫することができている。 d: 個々の作品から視点の面白さや発想・構想・意図を感じ取ることができている。	学習活動の様子 まとめシート 発表・鑑賞活動の様子や発言の内容
前期	色彩『色彩理論と実践・色立方体を描く／水性素材実験・マチュエール』	【デザイン】 ■制作① ・各面9つに区切った立方体を9つの色相を使って立体的に塗り分ける。 ■制作② ・水性絵具(アクリルガッシュ)を使いマチュエールの研究を行う。60×10 ㎝程度の画用紙に 100 種類制作。 ■相互鑑賞	○ ○	○ ○	○ ○	 ○	a:色の三属性を理解し、色彩表現に関心をもち取り組んでいる。 b：トーンを効果的に用いて立体的に見せるよう構想を練っている。 c：視覚的な効果を考え，配色を工夫し効果的に表現できている。 d:よさや美しさ、作者の表現意図や工夫などを感じ取り、理解を深めている。 a:絵具のマチュエールや色彩表現に関心をもち取り組んでいる。 b：マチュエールをを効果的に用いて色彩構成構想を練っている。 c：視覚的な効果を考え，絵肌・配色を工夫し効果的に表現できている。 d:よさや美しさ、作者の表現意図や工夫などを感じ取り、理解を深めている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品 鑑賞活動の様子

※令和３年度以前入学生用

前期	デッサン・立体・色彩『チーフ研究・手』	【絵画】■制作 ・自分の手をよく観察しでデッサンする。 【彫刻】■制作 ・自分の手をよく観察し水粘土で塑像を制作する。 【絵画・デザイン】■制作 ・手をモチーフに自由に色彩構成する。 ■相互鑑賞・合評	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	◎	a:手を様々な角度・視点から観察し，動きや形、手の美しさやおもしろさを感じ取ろうとしている。主体的に活動に取り組もうとしている。 b: 観察から得た形の動きや明暗、色彩等を基に構想を練っている。 c：視覚的な効果や手の表情を考え，構図や配色、動きや形を工夫することができている。 d: 個々の作品から視点の面白さや発想・構想・意図を感じ取り、根拠を基に意見交換できている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品 鑑賞活動の様子
前期	デッサン『卓上静物』	【絵画】 ■制作 ・卓上に与えられた静物を配置し鉛筆デッサンする。 ■相互鑑賞・合評	○	○	○	○	a:工業製品や果物をよく観察し色や形、面、ものの構造や動き、光や空間を意識しようとしている。 b: 観察を通して感じ取った動きや形などを基に画面構成について構想を練っている。 c：モチーフのもつ色や形、面を捉えて、明暗やタッチを工夫し描いている。 d: 互いの作品を鑑賞しあい、根拠を基に意見交換できている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品 鑑賞活動の様子
前期	色彩『色彩構成・モチーフからのイメージ構成』	【絵画・デザイン】 ■制作 ・与えられたモチーフを基に自由に発想し色彩構成する。 ■相互鑑賞・合評	○	◎	◎	◎	a:モチーフをよく観察し、モチーフの色や形、構造や動きのおもしろさを感じ取ろうととしている。 b: 観察を通して感じ取った色やや形などを基に画面構成について構想を練っている。 c：マチュエールや色彩構成を工夫し描くことができている。 d: 互いの作品を鑑賞しあい、根拠を基に意見交換できている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品 鑑賞活動の様子

※令和３年度以前入学生用

前期	立体『紙立体の基本技術・甲殻類をつくる』	【立体】 ■基礎制作 ・紙立体の基本的な技法を学ぶ。立方体・円柱・円錐を紙で作る。 ・自由曲面を持った立体を制作する。 ■本制作 ・甲殻類をテーマにケント紙を用いて立体を作る ■相互鑑賞・合評	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:紙素材に関心を持ち、 甲殻類を表すことに関心を持っている。 b:作る対象の形態、動きなどを感じ取り主題を生成している。 c:立体感や動き、量感を紙の特性を生かして表わしている。 d: 個々の作品から視点の面白さや発想・構想・意図を感じ取り、根拠を基に意見交換できている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品 鑑賞活動の様子
前期	『鑑賞レポート』	【鑑賞】 展覧会鑑賞レポート:本物をじっくり味わい鑑賞しレポートにまとめる。	○			○	a:他者の作品を理解しようとしている d: 作者の意図や工夫を理解し、その感想を文章に表現する	レポート
後期	静物デッサン『大型静物を描く』	【絵画】 ■制作 ・室内に配置された静物をバランスよく画面におさめデッサンする。 ■相互鑑賞	○	○	○	○	a:剥製や果物など配置された静物をよく観察し色や形、ものの構造や動き、光を感じ取ろうとしている。 b: 静物の色や形、空間を意識し構想を練っている。 c：モチーフのもつ色や形の特徴を捉えて、明暗や描き方を工夫して描いている。 d: 互いの作品を鑑賞しあい、根拠を基に意見交換できている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品 鑑賞活動の様子
後期	絵・彫・デ・工・映『自由制作』	【絵画・彫刻・デザイン・工芸・映像メディア】 ■制作 ・それぞれに表現テーマを考え、自由に作品を制作する。 ■相互鑑賞・合評	○	○	○	○	a：テーマから着想し、形や色彩、素材を工夫し構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b：主題を生成し、各技法の特性、バランスや造形的面白さ等を考えて表現の構想を練っている。 c：主題に基づき個々の素材の特性を生かし、工夫して表現している。 d：互いの作品を鑑賞しあい、根拠を基に意見交換できている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品 鑑賞活動の様子

※令和３年度以前入学生用

後期	絵・彫・デ・工・映　個別課題制	【絵画・彫刻・デザイン・工芸・映像メディア】 ■制作 ・それぞれの受験等に応じて設定した課題の制作を行う。	○	○	○		a：個別の課題について目標を持って前向きに取り組もうとしている。 b：各課題について創意に富んだ構想を練れている。 c：各課題について素材の特性を生かし、技術を習得し、高めることができている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。